4-156-864-**02**(1)

DVDライター

取扱説明書

VRD-MC6

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

77ページの注意事項をよくお読みください。

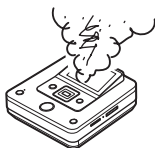
定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ **電源を切る**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

指のケガに注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

必ずお読みください

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権に関するご注意

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ機器を接続して番組を録画する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

- DVDirect、ハンディカム、サイバーショット、メモリースティック、そしてそれぞれのロゴマークは、弊社の商標あるいは登録商標です。「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
  本製品は、ドルビーラボラトリーズ社とのライセンス契約に基づき、製造されています。
  DolbyとダブルDのシンボルマークは、ドルビーラボラトリーズ社の商標です。
- 本製品には、著作権者（イーソル株式会社）とのライセンス契約に基づき、その著作権者のソフトウェアが使用されています。

目次

各種設定

困ったときは／参考情報

その他

ダビング方法を確かめる

ダビング方法は、作成したいディスクや撮影した機器の種類などによって異なります。
下図をご覧になり、該当する接続と操作をしてください。

まず、作成したいディスクの種類を選びます

ここでは動画のダビング方法について紹介しています。写真のダビングについては18ページをご覧ください。

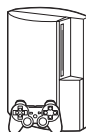
ハイビジョン映像を、美しいままディスクに残したい…

ハイビジョン画質(HD)のディスク(AVCHD規格)

再生できる機器例

AVCHD規格対応機器

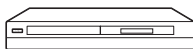
ソニー製
ブルーレイディスクレコーダー
(BDZ-S77を除く)

“プレイステーション 3”

DVDプレーヤー／レコーダーでは再生できません。

さまざまな機器でみんなが手軽に見られるディスクにしたい…

標準画質(SD)のディスク

再生できる機器例

DVDプレーヤー／
レコーダー

パソコン

ハンディカムについて
本書で「ハンディカム」とは、ソニー製ビデオカメラのことです。特に、ハイビジョン画質（HD）での撮影に対応したソニー製デジタルビデオカメラのことをさす場合は、「ハイビジョンハンディカム」とあらわします。

ダビングタイプ

ハイビジョン画質(HD)の動画をハイビジョン画質(HD)のままダビングする HD ➡ HD

記録されているメディアは?

接続と設定

ハードディスク

カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ
内蔵メモリー

カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ
メモリーカード

メモリーカードを差し込む*1
➡ 34ページ
*1 カメラをUSBケーブルでつないでもダビングできます。

8cmディスク

ダビングできません
標準画質(SD)に変換してダビングできます。ダビングタイプB(10ページ)をご覧ください。

DVテープ(HDV規格)

ダビングできません
標準画質(SD)に変換してダビングできます。ダビングタイプB(10ページ)をご覧ください。

ダビング方法を選んでスタート！

ワンタッチダビング カメラのワンタッチボタンを押すだけ	まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	つづきダビング 新しく撮った動画だけをダビング	プレイリストダビング*3 カメラで作ったプレイリストどおりに	映像選択ダビング 撮影日やシーンから動画を選ぶ
47ページ	36ページ	37ページ	39ページ	41ページ
47ページ*4	36ページ	37ページ	39ページ	41ページ
47ページ*2	36ページ	37ページ	39ページ	41ページ

*2 カメラをUSBケーブルでつないだ場合のみ可能です。また、一部機種のみワンタッチダビングに対応しています。

*3 プレイリストの作成に対応した機種のみプレイリストダビングに対応しています。

*4 ハイブリッドプラスハンディカムの内蔵メモリーからワンタッチダビングはできません。

ご注意

- [HD FX]（ハイビジョンハンディカムの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。この場合は標準画質（SD）に変換してダビングできます。ダビングタイプ🅑（10ページ）をご覧ください。

ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（SD）に変換してダビングする

接続と設定

ハードディスク

→ カメラに付属または別売りの
AVケーブルでつなぐ
➜ 32ページ

内蔵メモリー

→ カメラに付属または別売りの
AVケーブルでつなぐ
➜ 32ページ

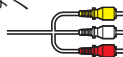
8cmディスク

→ カメラに付属または別売りの
AVケーブルでつなぐ
➜ 32ページ

メモリーカード

→ カメラに付属または別売りの
AVケーブルでつなぐ
➜ 32ページ

DVテープ
（HDV規格）

→ カメラに付属または別売りの
AVケーブルでつなぐ
➜ 32ページ

→ カメラに付属または別売りの
DV（i.LINK）ケーブルでつなぐ
ハンディカムの「i.LINK　DV変換」設定を「入」にしてつなぎます。
➜ 31ページ

ダビング方法を選んでスタート！

マニュアルダビング 再生しながら手動で操作
45ページ
45ページ
45ページ
45ページ
51ページ

まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	マニュアルダビング 再生しながら手動で操作
49ページ	51ページ

ダビングタイプ

標準画質（SD）の動画を標準画質（SD）のままダビングする

記録されているメディアは？

ハードディスク

内蔵メモリー

8cmディスク

メモリーカード

DVテープ（HDV規格）

上記すべてのメディア

接続と設定

カメラに付属または別売りの
USBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ
カメラに付属または別売りの
USBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ
カメラに付属または別売りの
USBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ
メモリーカードを差し込む*[1]
➡ 34ページ
*1 カメラをUSBケーブルでつないでもダビングできます。

カメラに付属または別売りの
DV（i.LINK）ケーブルでつなぐ
➡ 31ページ
カメラに付属または別売りの
AVケーブルでつなぐ
➡ 32ページ

ダビング方法を選んでスタート！

ワンタッチダビング カメラのワンタッチボタンを押すだけ	まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	ひとまとめダビング 複数のディスクの動画を1枚にダビング	つづきダビング 新しく撮った動画だけをダビング	プレイリストダビング*3 カメラで作ったプレイリストどおりに	映像選択ダビング 撮影日やシーンから動画を選ぶ
47ページ	36ページ	—	37ページ	39ページ	41ページ
47ページ*4	36ページ	—	37ページ	39ページ	41ページ
—	36ページ	43ページ	—	—	—
47ページ*2	36ページ	—	37ページ	39ページ	41ページ

まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	マニュアルダビング 再生しながら手動で操作
49ページ	51ページ
—	45ページ

*2 カメラをUSBケーブルでつないだ場合のみ可能です。また、一部機種のみワンタッチダビングに対応しています。
*3 プレイリストの作成に対応した機種のみプレイリストダビングに対応しています。
*4 ハイブリッドプラスハンディカムの内蔵メモリーからワンタッチダビングはできません。

ダビングタイプ

標準画質(SD)の動画を標準画質(SD)のままダビングする

SD ➡ SD

記録されているメディアは?

接続と設定

ハードディスク

カメラに付属または別売りの
USBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ

内蔵メモリー

カメラに付属または別売りの
USBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ

8cmディスク

カメラに付属または別売りの
USBケーブルでつなぐ
➡ 29ページ

メモリーカード

メモリーカードを差し込む[*1]
➡ 34ページ

[*1] カメラをUSBケーブルでつないでもダビングできます。

DVテープ
D8(Digital8)規格のテープ

別売りの
DV(i.LINK)ケーブルでつなぐ
➡ 31ページ

上記すべてのメディア
その他のメディア
(8mmテープ、MICROMVテープなど)

カメラに付属または別売りの
AVケーブルでつなぐ
➡ 32ページ

ダビング方法を選んでスタート！

ワンタッチダビング カメラのワンタッチボタンを押すだけ	まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	ひとまとめダビング 複数のディスクの動画を1枚にダビング	つづきダビング 新しく撮った動画だけをダビング	プレイリストダビング カメラで作ったプレイリストどおりに	映像選択ダビング 撮影日やシーンから動画を選ぶ
47ページ	36ページ	—	37ページ	39ページ	41ページ
47ページ*2	36ページ	—	37ページ	39ページ	41ページ
—	36ページ	43ページ	—	—	—
—	36ページ	—	37ページ	39ページ	41ページ

まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	マニュアルダビング 再生しながら手動で操作
49ページ	51ページ
—	45ページ

*2 ハイブリッドプラスハンディカムの内蔵メモリーからワンタッチダビングはできません。

一般のビデオ機器から標準画質（SD）でダビングする

HD / SD ➡ SD

記録されている機器・メディアは？

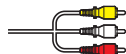
ビデオ機器の接続と設定

USB接続でのダビングはできません。

DV出力端子があり、DV信号を出力できるビデオ機器

別売りの
DV（i.LINK）ケーブルでつなぐ
➡ 31ページ

映像／音声出力端子のあるビデオ機器

別売りの
映像／音声ケーブルでつなぐ
➡ 32ページ

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	**マニュアルダビング** 再生しながら手動で操作
49ページ	51ページ
—	51ページ

写真をダビングする

写真はJPEGファイルのままダビングされます。また、スライドショー映像としてダビングすることもできます。

記録されているメディアやメモリーカードは？

記録されているメディア

ハードディスク

内蔵メモリー

8cmディスク

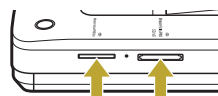
メモリーカード

各種メモリーカード

“メモリースティック デュオ”
“メモリースティック”
SDカード
xDピクチャーカード

接続と設定

カメラに付属または別売りの
USBケーブルでつなぐ
➜ 29ページ

メモリーカードスロットに
差し込む
➜ 34ページ

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング 機器の中の写真をすべてダビング	写真選択ダビング 撮影日やシーンから写真を選ぶ
54ページ	56ページ

まるごとダビング 機器の中の写真をすべてダビング	写真選択ダビング 撮影日やシーンから写真を選ぶ
54ページ	56ページ

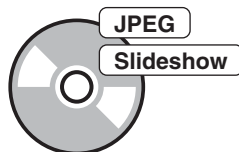
作成できるディスク

写真ディスク

• 写真（JPEG）ファイルを保存

JPEG再生対応のDVDプレーヤー／レコーダーやパソコンで再生可能

スライドショーディスク

• 写真（JPEG）ファイルを保存
• 写真をもとに作られたスライドショー（標準画質）を作成

一般のDVDプレーヤー／レコーダーやパソコンで再生可能

この取扱説明書の使いかた

ディスクへのダビングを始める前に、まず、「ダビング方法の選択」をご覧ください。
「ダビング方法の選択」では、ディスクの用途や使用する機器を選びながら、ダビングに必要な接続や操作を確認できます。

動画

ダビング方法の選択（6ページ）
「ダビング方法を確かめる」（6ページ）で、作成したいディスクの種類やお使いの機器などの条件に合うダビング方法を探します。次に「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」（8ページ～16ページ）で、お使いの機器に合った接続や操作方法を確認してください。

↓

ダビングの準備（27ページ）
「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」の結果にしたがってお使いの機器と本機をつなぎ、機器の設定などの準備をしてください。

↓

ダビング（36、49ページ）
「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」で選んだお好みのダビング方法のページをご覧になり、本機を操作してください。

写真

ダビング方法の選択と準備（18ページ）
お使いのメディアやメモリーカードに合った接続や操作方法を確認し、機器の設定などの準備をしてください。

ダビング（54、56ページ）
お好みのダビング方法のページをご覧になり、本機を操作してください。

メディアマークについて

本書では、接続や操作方法の説明の前に、ダビング可能な機器・メディアを示すマークを記載しています。接続や操作方法を選ぶ目安としてください。

メディアマーク	ダビング可能な機器・メディア
ハードディスク	カメラに内蔵されたハードディスク
内蔵メモリー	カメラに内蔵されたメモリー
8cmディスク	カメラに挿入されている8cmディスク
メモリーカード	カメラで使用された“メモリースティックデュオ”やSDカードなどのメモリーカード
DVテープ	カメラに挿入されているテープ（DV規格／Digital8規格）
一般ビデオ機器	映像／音声出力端子のある各種ビデオ機器

ハンディカムについて

本書で「ハンディカム」とは、ソニー製ビデオカメラのことです。特に、ハイビジョン画質（HD）での撮影に対応したソニー製デジタルビデオカメラのことをさす場合は、「ハイビジョンハンディカム」とあらわします。

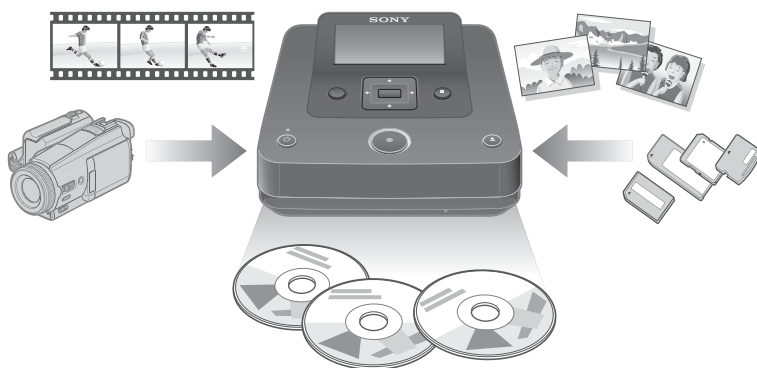
画像について

本書で「画像」とは、動画と写真の両方のことをさします。

画面イラストについて

本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。

本機でできること

本機を使えば、簡単に動画や写真をパソコンなしでディスクにダビングできます。

ハイビジョン画質（HD）動画のダビング

ソニー製のデジタルビデオカメラやデジタルスチルカメラで撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画を、そのままの画質でディスクにダビングできます。ダビングしたディスクは、AVCHD規格に対応した機器で再生できます。「ハイビジョン画質（HD）のディスクの再生互換性について」（74ページ）を必ずお読みください。

標準画質（SD）動画のダビング

さまざまなビデオ機器に記録した動画を標準画質でディスクにダビングできます。ダビングしたディスクは、DVDプレーヤーなどのDVD機器で再生できます。

写真のダビング

本機につないだソニー製のカメラや各種のメモリーカードから、写真をダビングできます。

知っておいていただきたいこと

ダビング可能な機器や画像の種類について

本機は以下のダビングに対応しています。

- ハイビジョン画質（HD）の動画
  - ソニー製デジタルビデオカメラで撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画
  - ソニー製デジタルスチルカメラで撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画
- 標準画質（SD）の動画
  - ソニー製デジタルビデオカメラで撮影した標準画質（SD）の動画
  - 各種ビデオ機器（映像／音声出力端子のあるビデオ機器）の動画
- 静止画
  - デジタルビデオカメラで撮影した静止画（JPEG規格）
  - デジタルスチルカメラで撮影した静止画（JPEG規格）

ダビングの方法は、使用する機器やその記録メディア、撮影した動画や静止画の種類、作成したいディスクの種類によって異なります。詳しくは、6ページをご覧になり、該当する接続と操作を選択してください。

ダビングできない場合について

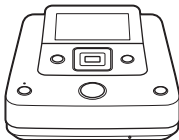
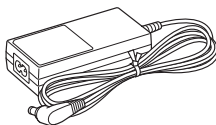
- 次の場合は本機ではダビングできません。
  - コピー制御信号のある動画（市販のDVDビデオソフト、ビデオテープ、衛星あるいはケーブルテレビの番組など）
  - 他機種でダビングしたディスクへの追記
- 本機が対応していない規格の動画を、メモリーカードスロットやUSBケーブル経由でダビングすることはできません（例：携帯電話やWebアップロード用途のカメラで撮影したMPEG1やAVCHD規格以外のMPEG4の動画など）。映像／音声ケーブル（AVケーブル）経由でのダビングは可能です。
- 次の場合はハイビジョン画質（HD）でのダビングができません。標準画質（SD）でのダビングとなります。
  - [HD FX]（ハイビジョンハンディカムの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画（AVCHD規格の規定によりダビングできません）
  - ハイビジョンハンディカムで「8cmDVD」に撮影したハイビジョン画質（HD）の動画
  - ハイビジョンハンディカムで「DV規格のテープ」に撮影したハイビジョン画質（HD）の動画（HDV規格）
  - AVCHD規格以外のハイビジョン画質（HD）の動画
- カメラやメモリーカードに、複数の種類の画像*[1]が保存されている場合、それらの画像を同時にダビングすることはできません。
- カメラに、複数の種類のメディア*[2]が搭載されている場合、各メディアに保存されている画像を同時にダビングすることはできません。
- カメラを、パソコンや“プレイステーション 3”につないでファイルの削除や画像の編集を行った場合、本機につないでダビングできなくなることがあります。ファイルの削除や画像の編集は、カメラ本体で行ってください。

*[1] ハイビジョン画質（HD）の動画、標準画質（SD）の動画、写真など、カメラで撮影できる画像の種類をさします。

*[2] ハードディスク、内蔵メモリー、8cmディスク、メモリーカードなど、カメラに搭載されている記録メディアの種類をさします。

付属品を確かめる

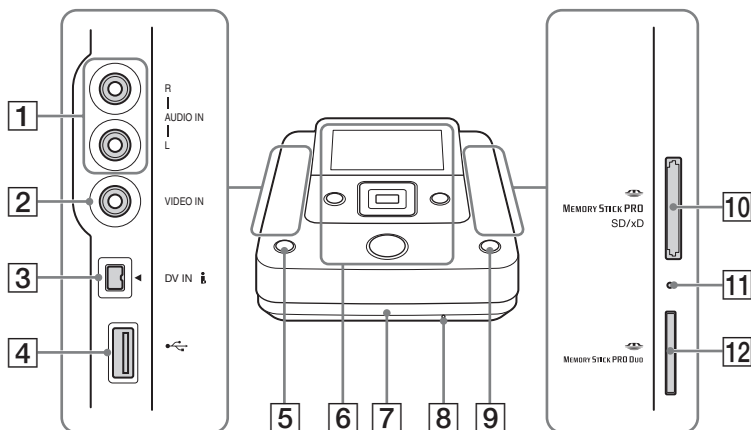
箱を開けたら、製品本体と以下の付属品がそろっているか確認してください。
万一不足の場合は、お買い上げ店へご相談ください。
（　）内は個数です。

VRD-MC6本体（1）

ACアダプター（1）

電源コード（1）
取扱説明書（本書）（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口の案内（1）

各部の名称とはたらき

（　）内は参照ページです。

本体

前面と側面

1 AUDIO IN（音声入力）端子（32）

2 VIDEO IN（映像入力）端子（32）

3 DV IN（DV入力）端子（31）

4 USB端子（タイプA）（29）

5 ⏻（電源）スイッチ（27）

6 操作パネル（26）

7 ディスクトレイ（28）

8 緊急取り出し穴

ディスクを取り出せないときに、ピンやクリップなどをまっすぐ差し込んでください。ディスクトレイが開きます。

9 ⏏（開）ボタン（28）

10 マルチカードスロット（34）

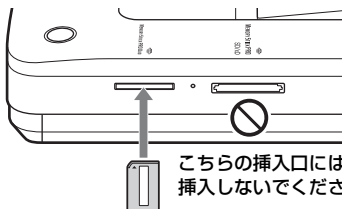
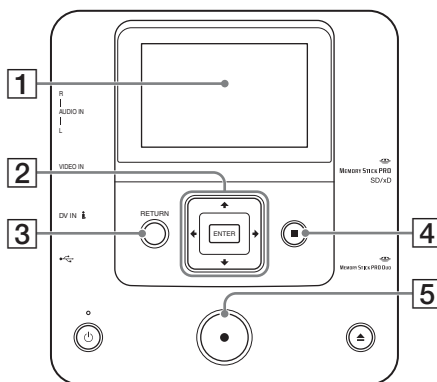
“メモリースティック”、SDカード、xD-ピクチャーカードを挿入します。

11 メモリーカードランプ

メモリーカードを読み込んでいるときにオレンジ色に点灯します。

12 “メモリースティック デュオ”スロット（34）

ご注意

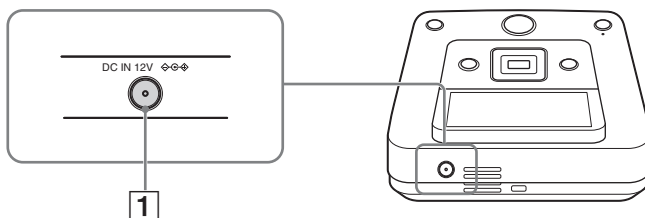
- “メモリースティック デュオ”と“メモリースティック”の挿入口は異なります。“メモリースティック デュオ”は“メモリースティック デュオ”スロットへ、“メモリースティック”はマルチカードスロットへ挿入してください。“メモリースティック デュオ”をマルチカードスロットへ挿入すると、取り出せなくなります。

操作パネル

1 ディスプレイ
操作画面、ビデオ機器やメモリーカードの画像などを表示します。

2 ↑/↓/←/→/ENTER（選択）ボタン（37、49、60）

3 RETURN（メニュー／戻る）ボタン（60）

4 停止ボタン（36、56、58、60）

5 ダビング（録画）ボタン（36、49）

後面

1 DC IN（電源入力）端子（27）

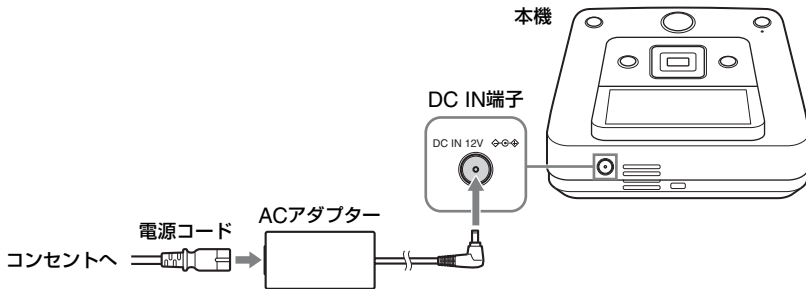
ご注意

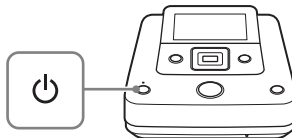
- 本機をご使用後、端子などの金属部分に触れると、少し熱く感じる場合がありますが、故障ではありません。

本機の電源を入れる

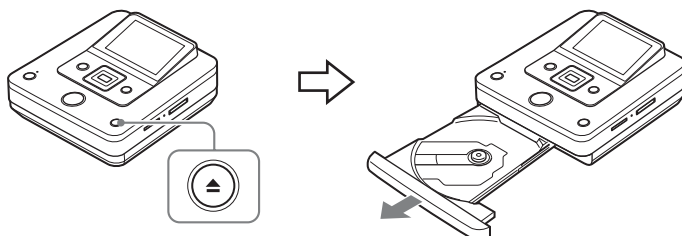
1 付属の電源コードをACアダプターにつなぐ。

2 本機のDC IN端子にACアダプターの電源プラグを差し込む。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

ご注意
- 付属の電源コードとACアダプターをお使いください。
- 破損しているコードは使わないでください。

4 ⏻(電源)スイッチを押す。

ディスプレイが明るくなり、DVDirectのロゴが表示されてから、本機の状態に応じた画面が表示されます。

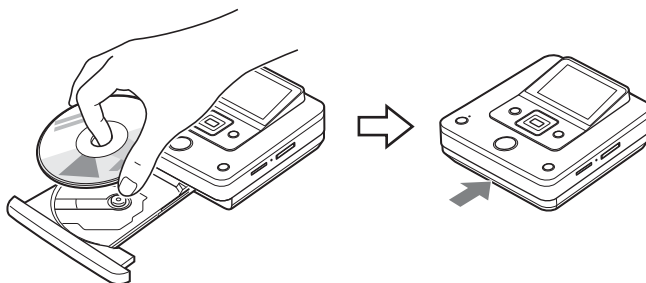
ディスクを挿入する

1 ⏏(開)を押す。

ディスクトレイが開きます。

ディスクトレイは途中までしか開きません。手で引き出してください。

2 録画面を下にしたディスクをディスクトレイに置き、トレイを矢印の方向に押し込む。

ご注意

- ディスクの録画面には触れないでください。

ディスクはカチッと音がするようディスクトレイに装着してください。

ディスクトレイはカチッと音がするまで確実に押し込んでください。

ディスクトレイが閉まります。

ご注意

- 本機をご使用後、ディスクトレイの金属部分や取り出したディスクを触ると、少し熱く感じる場合がありますが、故障ではありません。

ダビング時の接続・設定をする

ダビングタイプⒶ〜Ⓔ(8ページ〜18ページ)で当てはまった「接続と設定」の方法をご覧ください。

USBケーブルの接続・設定

ハードディスク　内蔵メモリー　8cmディスク　メモリーカード

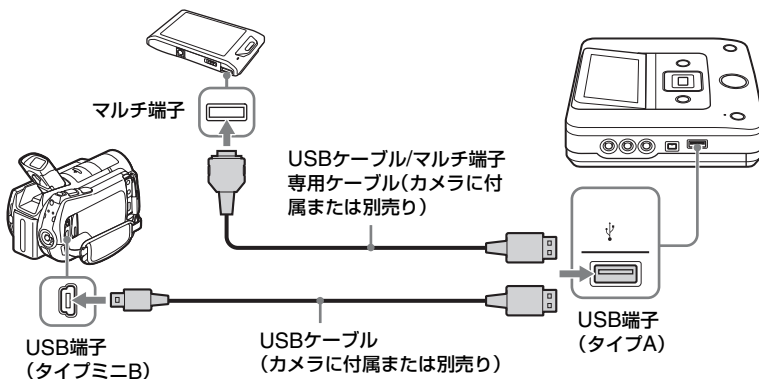
1 カメラの電源を入れる。

ご注意

- カメラはACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

ちょっと一言

- 機種によっては、「撮影」から他のモード(「再生」「編集」など)への切り換えが必要です。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

2 カメラを本機につなぐ。

ちょっと一言

- USB端子がハンディカムステーションやマルチ出力スタンドに搭載されている機種もあります。

3 カメラ側でUSB接続を確認する。

ソニー製デジタルビデオカメラの場合

[USB機能選択]画面が表示されます。ダビングする画像が記録されている記録メディアのボタンをタッチしてください。

[USB機能選択]画面で表示されるボタン名称例

記録メディア	ボタン名称例
ハードディスク	[USB接続][パソコン接続][パソコン接続 HDD]など
内蔵メモリー	[USB接続]など
8cmディスク	[USB接続][パソコン接続]など
メモリーカード	[USB接続][パソコン接続]など

ダビングの準備

ちょっと一言

- カメラの機種によっては、カメラを本機につなぐだけでUSB接続が完了します。（カメラの画面に［USBモード］などと表示されます。）その場合は記録メディアを選ぶ操作は必要ありません。
- カメラの設定に［USB速度設定］がある場合は、あらかじめ［自動］に設定してください。（初期設定は［自動］です。）

ソニー製デジタルスチルカメラの場合

カメラを本機につなぐだけでUSB接続が完了します。［USBモード］や［Mass Storage］と表示されます。

ちょっと一言

- カメラの設定に［USB接続］がある場合は、あらかじめ［オート］または［Mass Storage］に設定してください。（初期設定は［オート］です。）
- カメラの設定に ［LUN設定］ がある場合は、機種によってはあらかじめ ［シングル］ に設定する必要があります。（初期設定は、機種によって異なります。）
- 動作確認済みの機種については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/dvdirect/

ご注意

- 内蔵メモリーとメモリーカードを搭載するカメラを本機につなぐと、本機はUSB接続先として、メモリーカードを選びます。ただしカメラの機種やカメラの設定によっては、内蔵メモリーを選ぶ場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧になり、［USB接続］や［LUN設定］などの設定をご確認ください。

ご注意

- 次の画像は、USBケーブルを使ってダビングできません。AVケーブルを使ってダビングしてください。
  – ソニー製デジタルビデオカメラで8cmディスクに撮影した「フォトムービー」
  – ソニー製デジタルビデオカメラで、記録フォーマットに「VRモード」を選んで撮影した8cmディスクの動画

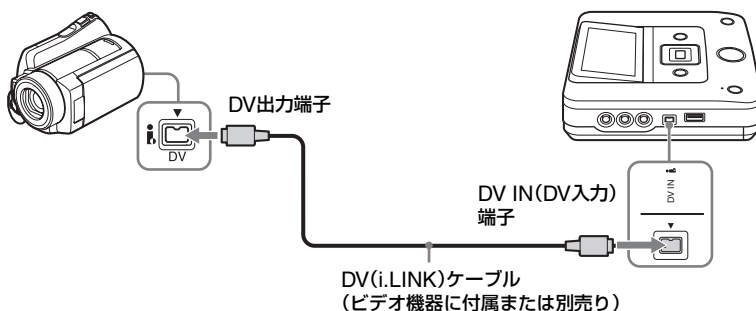
DV（i.LINK）ケーブルの接続・設定

DVテープ

1 ビデオ機器の電源を入れる。

ご注意
- カメラは必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

2 ビデオ機器を再生モードにする。
- 再生モードに設定する方法はお使いのビデオ機器によって異なります。（ソニー製デジタルビデオカメラでは、電源スイッチを「見る／編集」や「ビデオ」などに切り換えます。）詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ハイビジョンハンディカム（HDV規格）で撮影したハイビジョン画質（HD）の動画をDV端子につないでダビングする場合、あらかじめハンディカムの[i.LINK DV変換]設定を[入]にしてください。ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（SD）に変換してダビングすることができます。

3 ビデオ機器を本機につなぐ。

ご注意
- DV（i.LINK）ケーブルを使ってダビングできるのは、DV規格／Digital8（デジタルエイト）規格のテープのみです。MICROMVや他のi.LINK端子付デジタルビデオ機器はダビングできません。これらの機器の場合は、映像／音声ケーブルを使ってダビングしてください。
- ソニー家庭用HDV/DV方式、Digital8（デジタルエイト）方式のデジタルビデオカメラ（DCR-VX700/VX1000、HDR-FX1/FX7/FX1000を除く）で接続動作を確認しています。

映像／音声ケーブル（AVケーブル）の接続・設定

ハードディスク　内蔵メモリー　8cmディスク　メモリーカード　DVテープ

一般ビデオ機器

1 ビデオ機器の電源を入れる。

ご注意

- カメラは必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

2 ビデオ機器を再生モードにする。

- 再生モードに設定する方法はお使いのビデオ機器によって異なります。（ハンディカムでは、電源スイッチを「見る／編集」や「ビデオ」などに切り換えます。また、複数のメディアに動画を撮影できるハンディカムでは、再生したいメディア（ハードディスク、"メモリースティック デュオ"、8cmディスク、または内蔵メモリー）の選択が必要です。）詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ハンディカム（DVテープ／D8）の［A/V→DV OUT］の設定は、［OFF］に設定してください。（初期設定は［OFF］です。）

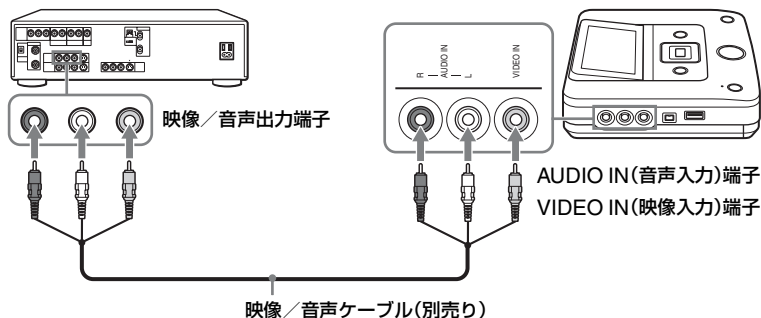
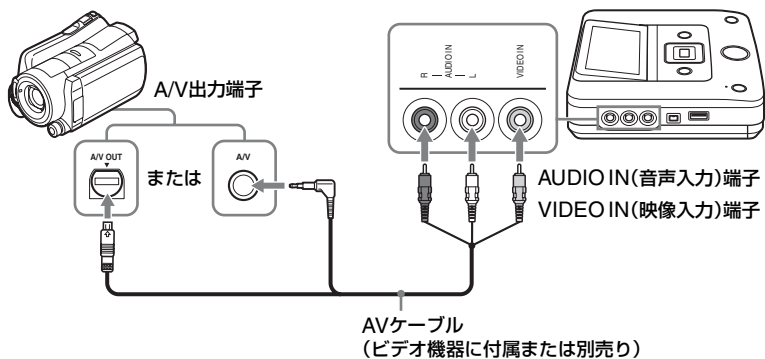
3 ビデオ機器を本機につなぐ。

映像／音声ケーブル（別売り）、AVケーブル（別売り）を使用します。

ちょっと一言

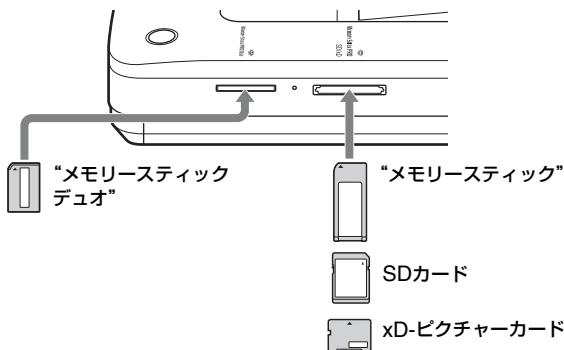
- ビデオ機器の端子はお使いの機器によって異なります。お使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧のうえ、適切なケーブルを使用してください。

映像／音声ケーブル（AVケーブル）でつなぐとき

A/V出力端子
A/V OUT
または
A/V
AUDIO IN
R
L
VIDEO IN
AUDIO IN（音声入力）端子
VIDEO IN（映像入力）端子
AVケーブル
（ビデオ機器に付属または別売り）

各種メモリーカードの挿入

メモリーカード

メモリーカードの動画や写真をダビングするときは、メモリーカードを本機に挿入します。

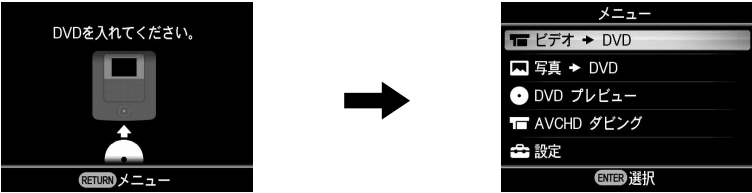
対応するメモリーカードスロットへ、メモリーカードを挿入する。

メモリーカードをカチッという音がするまで挿入口へ押し込んでください。取り出すときには、カードを押してから引き出してください。

ご注意

- 複数のメモリーカードスロットに同時にメモリーカードを挿入しないでください。また、各メモリーカードスロットには一度に1枚のカードしか挿入できません。
- ダビング中に、他のメモリーカードを挿入しないでください。正しくダビングされないことがあります。
- マルチカードスロットへ、“メモリースティック デュオ”アダプターをつけた“メモリースティック デュオ”を挿入しないでください。
- ダビング中や、メモリーカードランプが点灯している間、メモリーカードは取り出さないでください。取り出した場合、メモリーカードのデータが破損することがあります。
- 本機をご使用後、取り出したメモリーカードを触ると、少し熱く感じる場合がありますが、故障ではありません。

本機の操作について

本機は電源を入れると、挿入したディスクやメモリーカード、入力端子(入力信号)の状態を検出して、録画までの手順を示すメッセージをディスプレイに表示します。
このメッセージに従って操作すれば、かんたんにダビングの準備を進めることができます。
本書ではこの手順を中心に説明しています。

また、電源を入れた後にRETURN(メニュー／戻る)を押すと、[メニュー]画面が表示されます。[メニュー]画面から目的の操作を選択してダビングの準備を進めることもできます。[メニュー]画面では以下の操作を選択できます。

メニュー	機能
ビデオ➔DVD	標準画質(SD)の動画をディスクにダビングします。
写真➔DVD	写真をディスクにダビングします。
DVDプレビュー	作成したディスクを再生します。
AVCHDダビング	ハイビジョン画質(HD)の動画をディスクにダビングします。
設定	さまざまな設定をします。

複数の画像(種類)が保存されている場合のダビングについて

カメラやメモリーカードに複数の画像(種類)が保存されている場合、本書の操作手順に沿って操作を行うと、ダビングされる画像は以下のようになります。
(ハイビジョン画質(HD)の動画、標準画質(SD)の動画、写真の順でダビングされる画像が優先されます。)

カメラやメモリーカードに保存されている画像(種類)			ダビングされる画像(種類)
ハイビジョン画質(HD)の動画	標準画質(SD)の動画	写真	
○	○	○	ハイビジョン画質(HD)の動画
○	○		ハイビジョン画質(HD)の動画
○		○	ハイビジョン画質(HD)の動画
	○	○	標準画質(SD)の動画

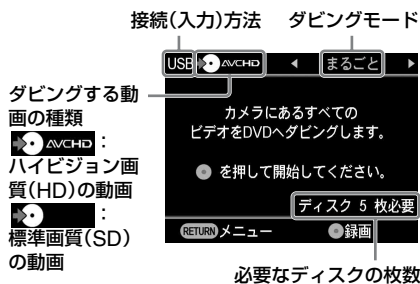
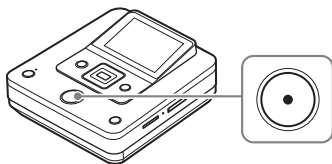
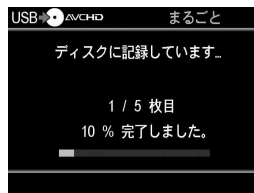
標準画質(SD)の動画をダビングしたい場合は、[メニュー]画面の[ビデオ➔DVD]から操作できます。
また、写真をダビングしたい場合は、[メニュー]画面の[写真➔DVD]から操作できます。

まるごとダビング ハードディスク 内蔵メモリー メモリーカード 8cmディスク

(ダビング／録画)を押すだけで、カメラ接続時に選んだメディア、または本機に挿入したメモリーカードの中のすべての動画をダビングできます。動画を選ばなくてもダビングできる簡単な方法のひとつです。
あらかじめ本機の電源を入れ(27ページ)、ディスクの挿入(28ページ)、ダビング時の接続と設定(29ページ)を済ませてください。

ご注意
- あらかじめ「ダビングできない場合について」(23ページ)をご覧ください。

1 画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、または挿入したメモリーカードが検出されると、画面左上に[USB]またはメモリーカードの種類が表示されます。
以下の画面は、ハンディカムをUSB端子につないだ場合に表示される画面です。

2 [まるごと]を選んでいることを確認し、(ダビング／録画)を押す。

(ダビング／録画)が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

3 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。
自動的にダビングを再開します。

4 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

自動的にファイナライズしてディスクが完成します。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、(停止)を押す。
ダビング中は中止できません。

つづきダビング

ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード

前回ダビング（つづきダビングまたはワンタッチダビング）したあとに新しく撮影された動画のみをダビングできます。動画を選ばなくてもダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（27ページ）、ディスクの挿入（28ページ）、ダビング時の接続と設定（29ページ）を済ませてください。

ご注意
- あらかじめ「ダビングできない場合について」（23ページ）をご覧ください。

1 画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、または挿入したメモリーカードが検出されると、画面左上に[USB]またはメモリーカードの種類が表示されます。

以下の画面は、ハンディカムをUSB端子につないだ場合に表示される画面です。

2 ←/→で［つづき］を選び、⊙（ダビング／録画）を押す。

⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

3 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。
自動的にダビングを再開します。

4 ダビングが完了したら、⏏（開）を押す。

ハイビジョン画質（HD）の動画をダビングしたときは、自動的にディスクトレイが開きます。標準画質（SD）の動画をダビングしたときは、ファイナライズするかの確認画面が表示されます。手順5に進んでください。

5 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズしないときは[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順6を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ](61ページ)をご覧ください。

6 ↑/↓で[OK]を選びENTER(選択)を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、■(停止)を押す。

ダビング中は中止できません。

ちょっと一言

- 本機は、1つのカメラ(内蔵の記録メディア)またはメモリーカードごとにつづきダビング情報を保持して、新しく撮影された動画のダビングを行います。最大10個までのカメラまたはメモリーカードのつづきダビング情報を保持することができます。

プレイリストダビング

ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード

カメラで作成したプレイリストどおりにダビングできます。プレイリストの作成について詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。
あらかじめ本機の電源を入れ(27ページ)、ディスクの挿入(28ページ)、ダビング時の接続と設定(29ページ)を済ませてください。

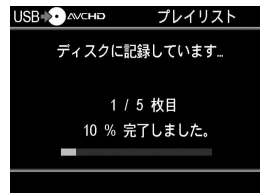
ご注意
- あらかじめ「ダビングできない場合について」(23ページ)をご覧ください。

1 画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、または挿入したメモリーカードが検出されると、画面左上に[USB]またはメモリーカードの種類が表示されます。

以下の画面は、ハンディカムをUSB端子につないだ場合に表示される画面です。

2 ←/→で[プレイリスト]を選び、⊙(ダビング／録画)を押す。

⊙(ダビング／録画)が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

3 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。
自動的にダビングを再開します。

4 **ダビングが完了したら、⏏(開)を押す。**

ハイビジョン画質(HD)の動画をダビングしたときは、自動的にディスクトレイが開きます。標準画質(SD)の動画をダビングしたときは、ファイナライズするかの確認画面が表示されます。手順5に進んでください。

5 **ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。**

ファイナライズしないときは[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順6を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ](61ページ)をご覧ください。

6 **↑/↓で[OK]を選びENTER(選択)を押す。**

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、■(停止)を押す。

ダビング中は中止できません。

映像選択ダビング　ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード

撮影日や画像インデックスから動画を選んでダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（27ページ）、ディスクの挿入（28ページ）、ダビング時の接続と設定（29ページ）を済ませてください。

ご注意
- あらかじめ「ダビングできない場合について」（23ページ）をご覧ください。

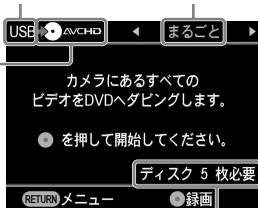
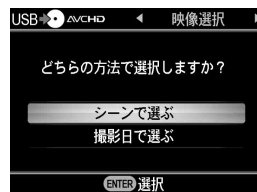
1 画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、または挿入したメモリーカードが検出されると、画面左上に［USB］またはメモリーカードの種類が表示されます。

以下の画面は、ハンディカムをUSB端子につないだ場合に表示される画面です。

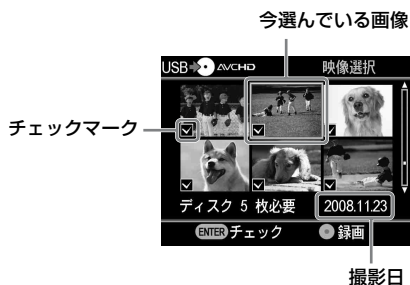
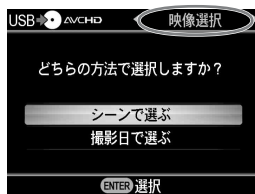
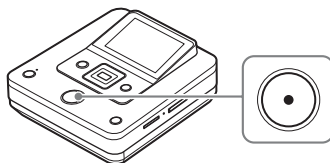
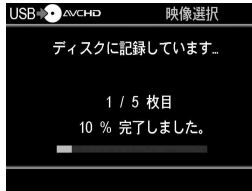
接続（入力）方法　ダビングモード

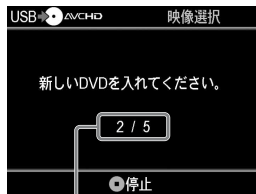
ダビングする動画の種類

：ハイビジョン画質（HD）の動画
：標準画質（SD）の動画

必要なディスクの枚数

2 ←/→で［映像選択］を選ぶ。

3 ↑/↓で［シーンで選ぶ］または［撮影日で選ぶ］を選び、ENTER（選択）を押す。

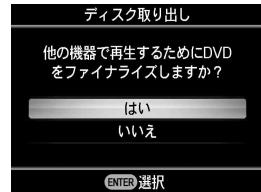
4 ←/↑/↓/→でダビングしたいシーンまたは撮影日を選び、ENTER（選択）を押しチェックマークを付ける。

ENTER（選択）をくり返し押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

5 ⊙（ダビング／録画）を押す。

◉（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

6 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

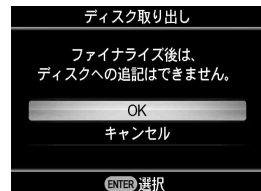
ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。

7 ダビングが完了したら、⏏（開）を押す。

ハイビジョン画質（HD）の動画をダビングしたときは、自動的にディスクトレイが開きます。標準画質（SD）の動画をダビングしたときは、ファイナライズするかの確認画面が表示されます。手順8に進んでください。

8 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で［はい］を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズしないときは［いいえ］を選ぶとディスクトレイが開きます。手順9を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、［ファイナライズ］（61ページ）をご覧ください。

9 ↑/↓で［OK］を選びENTER（選択）を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、◉（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

ひとまとめダビング(8cm ディスクからダビング)

8cmディスク

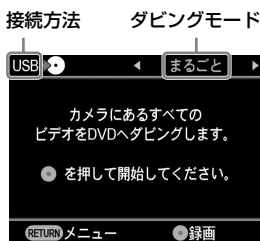
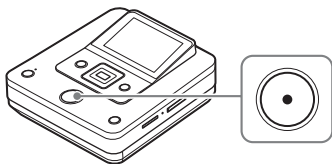
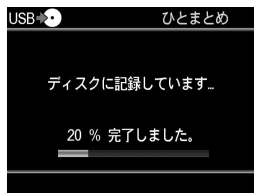
複数の8cmディスクをまとめて1枚のディスクにダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ(27ページ)、ディスクの挿入(28ページ)、USBケーブルの接続と設定(29ページ)を済ませてください。

ご注意

- あらかじめ「ダビングできない場合について」(23ページ)をご覧ください。

1 画面を確認する。

USB端子につないだカメラが検出されると、画面左上に[USB]と表示されます。

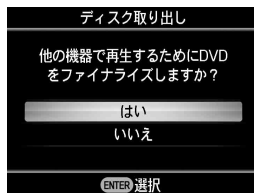
接続方法　ダビングモード

2 ←/→で[ひとまとめ]を選び、(ダビング/録画)を押す。

(ダビング/録画)が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

3 ダビングが完了する。

続けて他の8cmディスクの動画をダビングするときは、カメラに挿入している8cmディスクを入れかえて、(ダビング/録画)を押します。

4 すべての8cmディスクのダビングが終わったら、⏏(開)を押す。

ファイナライズするかの確認画面が表示されます。

5 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズしない場合は[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順6を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ](61ページ)をご覧ください。

6 ↑/↓で[OK]を選びENTER(選択)を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ご注意

- ダビングを途中で止めることはできません。

マニュアルダビング

ハードディスク　内蔵メモリー　8cmディスク　メモリーカード

カメラで撮影した動画を手動で再生しながらダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ(27ページ)、ディスクの挿入(28ページ)、AVケーブルの接続と設定(32ページ)を済ませてください。

ちょっと一言
- ダビングの準備を正しく済ませていれば、映像入力端子からの映像信号を検出して、自動的に手順4の画面を表示します。手順1～3を行う必要はありません。

1 RETURN(メニュー/戻る)を押す。

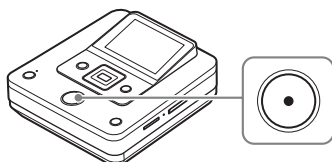
[メニュー]画面が表示されます。

2 [ビデオ➜DVD]を選んでいることを確認し、ENTER(選択)を押す。

3 ⬆/⬇で[VIDEO]を選び、ENTER(選択)を押す。

つないだカメラの動画が表示されます。

ちょっと一言
- 空きディスクを挿入し、「DV/VIDEO録画用にディスクをフォーマットします。」と表示された場合は[OK]を選んでください。フォーマット(ディスクの初期化)には数十秒かかります。ここでフォーマットされたディスクへは、ハイビジョン画質(HD)の動画はダビングできません。

4 カメラを操作して動画を再生しながら、本機の⊙(ダビング/録画)を押す。

本機に[録画中]と表示され、⊙(ダビング/録画)が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ダビングを一時停止するには
ダビング中に⊙(ダビング/録画)を押す。
再開するには、もう一度⊙(ダビング/録画)を押してください。

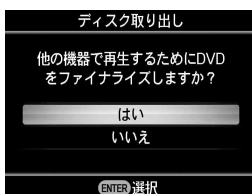
5 ⊡(停止)を押し、ダビングを停止する。

6 ダビングを続けるときは、手順4～5をくり返す。

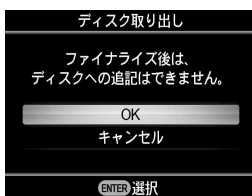
7 ダビングが完了したら、⏏(開)を押す。

ファイナライズするかの確認画面が表示されます。

8 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズをしない場合は[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順9を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ](61ページ)をご覧ください。
- DVD+RWディスクを使用している場合、ファイナライズの必要はありません(手順8〜9を行う必要はありません)。

9 ↑/↓で[OK]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ご注意

- ディスクを入れ、10分以上放置してからダビングを開始すると、⊙(ダビング／録画)を押してから実際に動画がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングするときはディスク挿入後すみやかに開始してください。
- ◉(停止)を押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。

ワンタッチダビング ハードディスク 内蔵メモリー メモリーカード

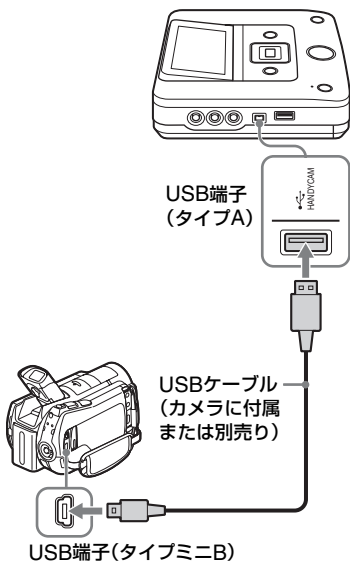
カメラのワンタッチディスクボタンを押すだけで、撮影した動画を簡単にダビングできます。つづきダビング（37ページ）と同様、前回ダビングしたあとに新しく撮影された動画のみをダビングしてディスクに追加できます。

1 **本機の電源を入れ（27ページ）、ディスクを本機に挿入する（28ページ）。**

2 **カメラの電源を入れる。**

ご注意

- カメラは必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

3 **カメラを本機につなぐ。**

カメラの液晶画面に［USB機能選択］画面が表示されます。

4 **カメラの画面の［ワンタッチディスク］をタッチする。またはカメラ本体やハンディカムステーションのワンタッチディスクボタン（ ）を押す。**

ダビングが始まります。

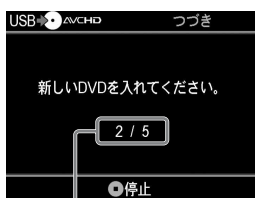
ハイビジョン画質（HD）と標準画質（SD）の動画が両方撮影されているときは

ハイビジョン画質（HD）の動画をディスクにダビングします（23ページ）。

ご注意

- お使いのカメラによって、画面上や本体ボタンの名称や絵が異なる場合があります（例［ワンタッチDVD］など）。
- 複数の種類の記録メディアを搭載するカメラ（ハイブリッドハンディカムを除く）からワンタッチダビングを行う場合、ダビングできる記録メディアは1種類です。またワンタッチダビングに対応する記録メディアの種類は、カメラによって異なります。
（例えば、ハードディスクとメモリーカードを搭載するハンディカムをつないでワンタッチダビングを行うと、ハードディスクに保存された動画をダビングできますが、メモリーカードに保存された動画はダビングできません。）
- ハイブリッドプラスハンディカムの「DUBBING」ボタンは、ワンタッチディスクボタンとは異なります。「DUBBING」ボタンを押しても本機にはダビングできません。

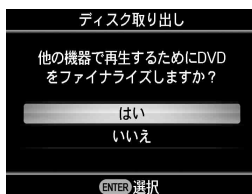
5 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。

次のディスク／
必要なディスクの枚数

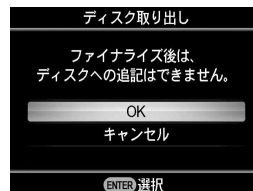
6 ダビングが完了したら、⏏（開）を押す。

ハイビジョン画質（HD）の動画をダビングしたときは、自動的にディスクトレイが開きます。標準画質（SD）の動画をダビングしたときは、ファイナライズするかの確認画面が表示されます。手順7に進んでください。

7 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズしないときは[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順8を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ]（61ページ）をご覧ください。

8 ↑/↓で[OK]を選びENTER（選択）を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、■（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

まるごとダビング DVテープ

本機がビデオ機器の再生や停止を自動で操作して、テープに撮影されたすべての動画をダビングします。
あらかじめ本機の電源を入れ（27ページ）、ディスクの挿入（28ページ）、DV（i.LINK）ケーブルの接続と設定（31ページ）を済ませてください。

ちょっと一言

- ダビングの準備を正しく済ませていれば、DV入力端子からの映像信号を検出して、自動的に手順4の画面を表示します。手順1～3を行う必要はありません。

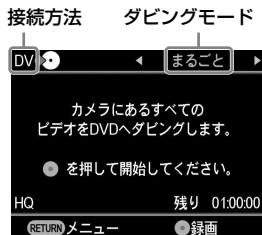
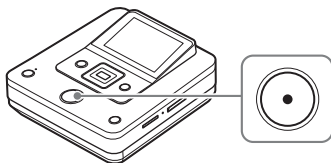
1 RETURN（メニュー／戻る）を押す。

［メニュー］画面が表示されます。

2 ［ビデオ➜DVD］を選んでいることを確認し、ENTER（選択）を押す。

3 ↑/↓で［DV］を選び、ENTERを押す。

4 画面を確認する。

DV入力端子につないだカメラが検出されると、画面左上に［DV］と表示されます。

5 ［まるごと］を選んでいることを確認し、⊙（ダビング／録画）を押す。

ビデオ機器のテープが自動的に最初まで巻き戻され再生されると同時に、ダビングが始まります。本機には［録画中］と表示され、⊙（ダビング／録画）が点灯します。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙（ダビング／録画）を押す。
再開するには、もう一度⊙（ダビング／録画）を押してください。

ダビングを中止するには

ダビング中に◉（停止）を押して、次にRETURN（メニュー／戻る）を押す。

ダビングを中止して手順4の画面に戻ります。

6 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

自動的にファイナライズしてディスクが完成します。

ちょっと一言

- テープの終わりや2分間以上の空き部分を検出すると、自動的にダビングを終了します。

マニュアルダビング DVテープ 一般ビデオ機器

ビデオ機器の動画を手動で再生しながらダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（27ページ）、ディスクの挿入（28ページ）、ビデオ機器の接続と設定（31、32ページ）を済ませてください。

ちょっと一言

- ダビングの準備を正しく済ませていれば、DV入力端子や映像入力端子からの映像信号を検出して、自動的に手順4の画面を表示します。手順1～3を行う必要はありません。

1 RETURN（メニュー／戻る）を押す。

［メニュー］画面が表示されます。

2 ［ビデオ→DVD］を選んでいることを確認し、ENTER（選択）を押す。

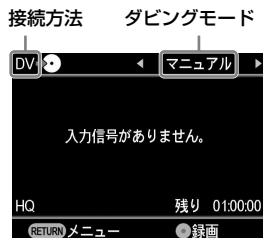
3 ↑/↓でつないでいる入力を選び、ENTERを押す。

DV(i.LINK)ケーブルでつないでいるときは[DV]を、映像／音声ケーブル（AVケーブル）でつないでいるときは[VIDEO]を選んでください。

4 ビデオ機器を正しくつないでいることを確認する。

DV(i.LINK)ケーブルでの接続の場合

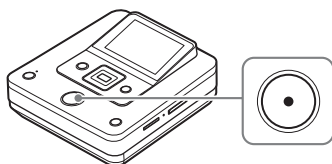
画面左上に[DV]と表示され、ダビングモードが画面右上に表示されます。

←/→で［マニュアル］を選んでください。

映像／音声ケーブル（AVケーブル）での接続の場合

画面左上に[VIDEO]と表示されます。手順5に進んでください。

ちょっと一言

- 空きディスクを挿入し、「DV/VIDEO録画用にディスクをフォーマットします。」と表示された場合は［OK］を選んでください。フォーマット（ディスクの初期化）には数十秒かかります。ここでフォーマットされたディスクへは、ハイビジョン画質（HD）の動画はダビングできません。

5 ビデオ機器を操作して動画を再生しながら、本機の⊙（ダビング／録画）を押す。

本機に[録画中]と表示され、⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙（ダビング／録画）を押す。
再開するには、もう一度⊙（ダビング／録画）を押してください。

ちょっと一言

- 本機はビデオ機器からの映像信号を検出しながら自動でダビングを開始／停止します。例えば、以下のように動作します。
  – ビデオ機器の再生を始める前に本機の⊙（ダビング／録画）を押すと、映像信号が入力されるまで本機はダビングを開始せずに待機します。あとで再生を始めると、本機も自動でダビングを開始します。
  – ダビング中にビデオ機器の再生を停止すると、映像信号が途切れ本機はダビングを一時中断します。再び再生を始めると本機もダビングを再開します。

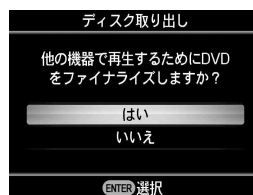
  このようなダビングを開始せず映像信号を待っているときは、本機の画面に「入力信号を待っています。」と表示されます。2分間この状態が続くと、本機はダビングを停止します。
  （ただしビデオ機器によっては、再生時以外にも機器の操作画面やテレビ番組などの映像信号を常に出力しているため、上記のように動作しない場合があります。）

6 ◉（停止）を押し、ダビングを停止する。

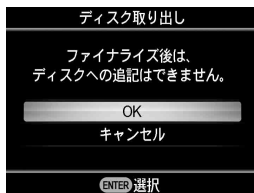
7 ダビングを続けるときは、手順5～6をくり返す。

8 ダビングが完了したら、⏏（開）を押す。

9 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズをしない場合は[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順10を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ]（61ページ）をご覧ください。

10 ↑/↓で[OK]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ご注意

- ディスクを入れ、10分以上放置してからダビングを開始すると、⊙(ダビング／録画)を押してから実際に動画がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングするときはディスク挿入後すみやかに開始してください。
- ■(停止)を押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。

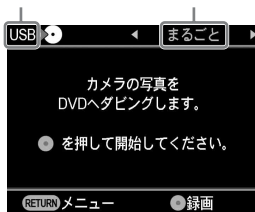
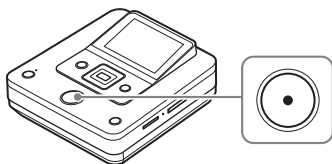
まるごとダビング

ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード　8cmディスク

◉（ダビング／録画）を押すだけで、カメラ接続時に選んだメディア、または本機に挿入したメモリーカードの中のすべての写真をダビングできます。写真を選ばなくてもダビングできる簡単な方法のひとつです。
あらかじめ本機の電源を入れ（27ページ）、ディスクの挿入（28ページ）、ダビング時の接続と設定（29ページ）またはメモリーカードの挿入（34ページ）を済ませてください。

1 画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、または挿入したメモリーカードが検出されると、画面左上に［USB］または検出したメモリーカードの種類が表示されます。

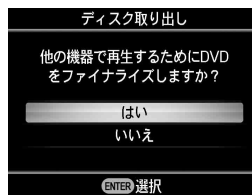
以下の画面は、ハンディカムをUSB端子につないだ場合に表示される画面です。

2 ［まるごと］を選んでいることを確認し、◉（ダビング／録画）を押す。

◉（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

3 ダビングが完了したら、⏏（開）を押す。

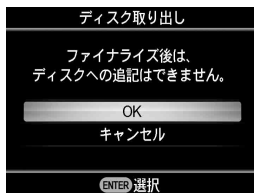
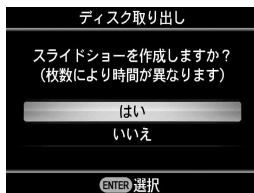
ファイナライズするかの確認画面が表示されます。手順4に進んでください。

［スライドショー作成］が［オン］に設定されていると（61ページ）、自動的にスライドショーを作成してファイナライズが終了し、ディスクトレイが開きます。手順4～6を行う必要はありません。

4 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で［はい］を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズをしない場合は、［いいえ］を選ぶとディスクトレイが開きます。手順5～6を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、［ファイナライズ］（61ページ）をご覧ください。

5 ↑/↓で[OK]を選び、ENTER(選択)を押す。

6 スライドショーを作成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

スライドショーを作成しない場合は、[いいえ]を選びます。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ちょっと一言

- スライドショーを作成すると、写真(JPEGファイル)と一緒に、写真をもとに作られた標準画質のスライドショー映像をディスクにダビングします。
- スライドショーを作成する場合は、ファイナライズが終了するまで時間がかかります。かかる時間は写真の数や画質により異なります(例えば、600万画素相当の写真を50枚ダビングする場合、20分以上かかる場合もあります)。

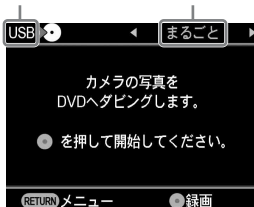
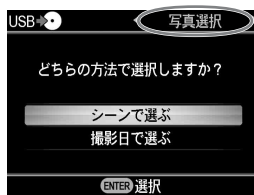
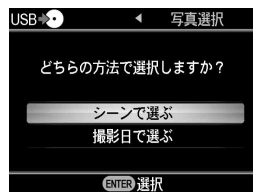
写真選択ダビング

ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード　8cmディスク

撮影日や画像インデックスから写真を選んでダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（27ページ）、ディスクの挿入（28ページ）、ダビング時の接続と設定（29ページ）を済ませてください。

1 画面を確認する。

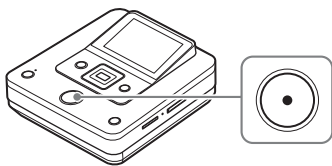
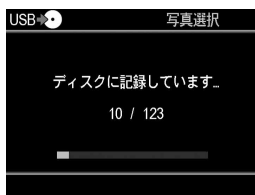
USB端子につないだカメラ、または挿入したメモリーカードが検出されると、画面左上に［USB］または検出したメモリーカードの種類が表示されます。

以下の画面は、ハンディカムをUSB端子につないだ場合に表示される画面です。

2 ←/→で［写真選択］を選ぶ。

3 ↑/↓で［シーンで選ぶ］または［撮影日で選ぶ］を選び、ENTER（選択）を押す。

4 ←/↑/↓/→でダビングしたいシーンまたは撮影日を選び、ENTER（選択）を押しチェックマークを付ける。

ENTER（選択）をくり返し押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

ちょっと一言

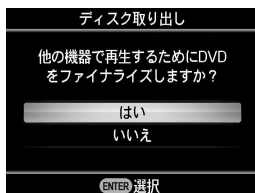
- ［シーンで選ぶ］画面で写真を選び■（停止）を押すと、選んだ写真が1枚表示されます。そのあと→を押すたびに、写真を右に90度ずつ回転し、←を押すたびに写真を左に90度ずつ回転します。

5 ⊙（ダビング／録画）を押す。

⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

6 ダビングが完了したら、⏏（開）を押す。

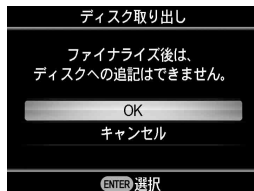
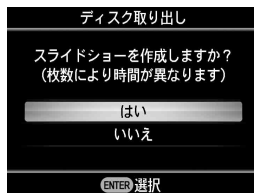
ファイナライズするかの確認画面が表示されます。手順7に進んでください。

［スライドショー作成］が［オン］に設定されていると（61ページ）、自動的にスライドショーを作成してファイナライズが終了し、ディスクトレイが開きます。手順7～9を行う必要はありません。

7 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で［はい］を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズをしない場合は、［いいえ］を選ぶとディスクトレイが開きます。手順8～9を行う必要はありません。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、［ファイナライズ］（61ページ）をご覧ください。

8 ↑/↓で［OK］を選び、ENTER（選択）を押す。

9 スライドショーを作成するときは、↑/↓で［はい］を選び、ENTER（選択）を押す。

スライドショーを作成しない場合は、［いいえ］を選びます。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ちょっと一言

- スライドショーを作成すると、写真（JPEGファイル）と一緒に、写真をもとに作られた標準画質のスライドショー映像をディスクにダビングします。
- スライドショーを作成する場合は、ファイナライズが終了するまで時間がかかります。かかる時間は写真の数や画質により異なります（例えば、600万画素相当の写真を50枚ダビングする場合、20分以上かかる場合もあります）。

動画をプレビューする

本機でダビングしたディスクを、本機のディスプレイで再生できます。

ご注意

- 本機以外の機器でダビングしたディスクや市販のDVDビデオソフト、メモリーカードを本機に挿入して、画像を再生することはできません。
- 再生中、音声は出ません。
- テレビなどとつないで再生することはできません。
- ハイビジョン画質（HD）のディスクは再生できません。

1 本体の電源を入れ、本機でダビングしたディスクを挿入する。

ちょっと一言

- 電源を入れた後に、ファイナライズされたディスクを挿入した場合、自動的にディスクを再生します（DVDメニューを表示します）。手順2～3を行う必要はありません。

2 RETURN（メニュー／戻る）を押す。

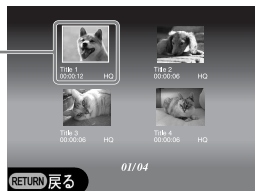
［メニュー］画面が表示されます。

3 ↑/↓で［DVDプレビュー］を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズしていないディスクは、再生が始まります。

ファイナライズ済みディスクを再生するときは手順4に進んでください。

4 ↓/↑/←/→で再生したい動画を選び、ENTER（選択）を押す。

選んでいるタイトル

再生が始まります。

プレビュー中の操作について

ボタン	操作
←/→	前／次のタイトルを表示
⊙	再生を停止する
RETURN	DVDメニューまたは本機の［メニュー］画面へ戻る

写真をプレビューする

本機でダビングしたディスクを、本機のディスプレイで再生できます。

ご注意
- 本機以外の機器でダビングしたディスクや市販のDVDビデオソフト、メモリーカードを本機に挿入して、画像を再生することはできません。
- 再生中、音声は出ません。
- テレビなどとつないで再生することはできません。

1 本機の電源を入れ、本機でダビングしたディスクを挿入する。

ちょっと一言
- 電源を入れた後に、ファイナライズされたディスクを挿入した場合、自動的にディスクを再生します（写真またはDVDメニューを表示します）。手順2〜3を行う必要はありません。

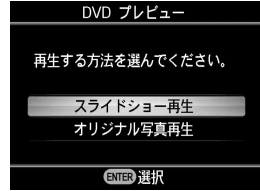
2 RETURN（メニュー／戻る）を押す。

［メニュー］画面が表示されます。

3 ↑/↓で［DVDプレビュー］を選び、ENTER（選択）を押す。

スライドショーを作成していないディスクやファイナライズしていないディスクは、写真が表示されます。

スライドショーを作成したディスクを再生するときは、「再生する方法を選んでください。」と表示されます。手順4に進んでください。

4 ↑/↓で［スライドショー再生］を選び、ENTER（選択）を押す。

DVDメニューが表示されます。タイトルを選びENTER（選択）を押すと、ダビングした写真を順番に再生します。

写真を選んで表示したい場合は、［オリジナル写真再生］を選びます。

プレビュー中の操作について

写真を表示する(オリジナル写真再生)

ボタン	操作
↑/↓	次／前の写真を表示
⦿/ RETURN	本機の［メニュー］画面へ戻る

スライドショー再生

ボタン	操作
←/→	前／次のタイトルを表示
⦿/ RETURN	DVDメニュー画面へ戻る

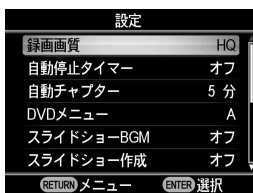
設定メニューを使う

設定メニューでは、本機のさまざまな機能や動作をお好みに合わせて変更できます。

1 本機の電源を入れ、RETURN（メニュー／戻る）を押す。

［メニュー］画面が表示されます。

2 ↑/↓で［設定］を選び、ENTER（選択）を押す。

3 ↑/↓で確認・変更したい項目を選び、ENTER（選択）を押す。

→マークはお買い上げ時の設定です。

録画画質（録画モード）

標準画質（SD）でダビングするときの画質を選びます。
DV入力端子または映像入力端子を使ってダビングする場合のみ有効です。

→ HQ
最高画質でダビングします。

HSP
高画質でダビングします。

SP
標準的な画質でダビングします。

LP
標準より少し劣る画質でダビングします。

SLP
長時間ダビングします。

ちょっと一言
- 録画モードによってディスクにダビングできる時間は異なります（72ページ）。

自動停止タイマー

標準画質（SD）でダビングするときに、自動的にダビングを停止する時間を選びます。
映像入力端子を使ってダビングする場合のみ有効です。

→ オフ
自動的に停止しません。

30分〜8時間
ダビング開始後、設定した時間が経過すると、自動的にダビングが停止します。30分、60分、90分、2時間、3時間、4時間、6時間、8時間から選びます。

ご注意
- 次の場合、［自動停止タイマー］設定は解除されます。
  – ダビングが終了したとき
  – ダビング中に ■（停止）を押したとき
  – 本機の電源を切ったとき

自動チャプター

標準画質（SD）のディスクに自動で記録するチャプターの間隔を設定します。
DV入力端子または映像入力端子を使ってダビングする場合のみ有効です。

オフ
チャプターで区切りません。

→ 5分
約5分間隔でチャプターを区切ります。

10分
約10分間隔でチャプターを区切ります。

15分
約15分間隔でチャプターを区切ります。

DVDメニュー

本機でダビングしたディスクに使うDVDメニューの背景画像を、用意されている画像から選びます。

→ A、B、C、D
４種類の画像から選びます。お買い上げ時は[A]に設定されています。

JPEG
お気に入りの写真（JPEGファイル）を背景画像に設定します。ディスクを作成する前に、設定したい写真（JPEGファイル）を入れたメモリーカードを、本機のカードスロットに入れてください。

ご注意
- 写真（JPEGファイル）は、メモリーカードの1番上の階層に、1枚だけ入れてください。写真が複数あると、目的の写真がDVDメニューに使用できない場合があります。
- 写真（JPEGファイル）によっては、使用できない場合があります。

スライドショーBGM

写真をダビングしてスライドショーを作成するとき、スライドショー再生のバックグラウンド音楽（BGM）を入れるかどうかを選びます。

オフ
BGMを入れません。

→ **オン**
内蔵BGMを入れます。

MP3
お気に入りの曲（MP3ファイル）をBGMに使います。ディスクを作成する前に、使用したいお気に入りの曲（MP3ファイル）を入れたメモリーカードを、本機のカードスロットに入れてください。

ご注意
- MP3ファイルは、メモリーカードの1番上の階層に、1つだけ入れてください。MP3ファイルが複数あると、目的の音楽がBGMに使用できない場合があります。
- 作成したスライドショーのディスクを第三者に提供する場合は、内蔵BGMをご使用ください。
- MP3ファイルによっては、使用できない場合があります。

スライドショー作成

写真をディスクにダビングしたあと、自動でスライドショーを作成するかどうかを選びます。

→ **オフ**
自動でスライドショーを作成しません。ディスクを取り出すときに、スライドショーを作成するかどうかの確認画面が表示されます。

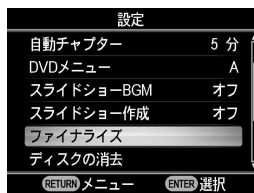
オン
自動でスライドショーを作成しファイナライズしてダビングを終了します。ディスクはすぐにDVDプレーヤーで再生できます。

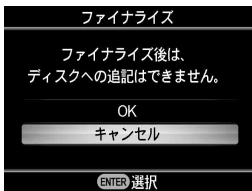
ファイナライズ

ファイナライズせずに取り出したディスクを、あとでファイナライズできます。

ちょっと一言
- ファイナライズとは、他の機器でディスクを再生できるようにするための処理です。本機でファイナライズしないと他の機器では再生できません。
- ファイナライズしたディスクに、動画や写真を後で追記することはできません。
- 映像入力端子またはDV入力端子を使ってDVD+RWディスクに動画をダビングした場合は、ファイナライズする必要はありません。このDVD+RWディスクには、後から動画を追記することができ、他の機器での再生もできます。

① ファイナライズしたいディスクを入れ、↑/↓で[ファイナライズ]を選び、ENTER（選択）を押す。

各種設定

② ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

③ ↑/↓で[OK]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズが始まります。
写真をダビングしたディスクは「スライドショーを作成しますか？」と表示されます。作成する場合は、↑/↓で[はい]を選んでください。
「完了しました。」と表示されたら、ファイナライズは終了です。

ご注意

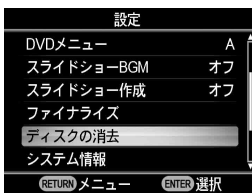
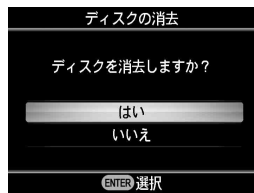
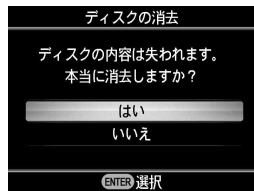
- ファイナライズには数分かかかります。(ディスクの内容によっては、時間がかかります。スライドショーを作成する場合は、さらに時間がかかります。)

ディスクの消去

DVD-RWやDVD+RWに記録したすべての画像を消去します。ディスクは空きディスクとして再利用できます。

ご注意

- この操作では、すべてのデータを消去するのでご注意ください。

① 消去したいディスクを入れ、↑/↓で[ディスクの消去]を選び、ENTER(選択)を押す。

② ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

③ ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ディスクの消去が始まります。
「完了しました。」と表示されたら、消去は終了です。

システム情報

本機のシステムソフトウェアのバージョンを確認できます。
[システム情報]を選ぶと、画面に本機のシステムソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

ちょっと一言

- システムソフトウェアとは、本機を動作させる内蔵ソフトウェアです。

自動電源停止

電源を入れて、2時間以上本機を操作しないと自動的に電源が切れます。

→ **オフ**
電源は切れません。

オン
自動的に電源が切れます。

デモ

本機を一定時間操作しないと、デモが自動的に画面に表示されます。

オフ
デモを行いません。

➔ **オン**
デモを行います。

カラーシステム

本機でダビングするディスクのカラーシステムを設定します。

➔ NTSC
接続するビデオ機器のカラーシステムがNTSCのとき、設定します。

PAL
接続するビデオ機器のカラーシステムがPALのとき、設定します。

ご注意

- カラーシステムの設定は、通常は変更しないでください。日本国内向けに発売されているビデオ機器のカラーシステムはNTSCです。日本国内では、[NTSC]に設定してご使用ください。
- 接続するビデオ機器のカラーシステムと、本機のカラーシステム設定が異なると、ダビングできません。
- 再生に使用するDVDプレーヤーのカラーシステムと、本機でダビングしたディスクのカラーシステム設定が異なると、再生はできません。

言語(Language)

画面に表示する言語を選びます。

故障かな？と思ったら

ソニーの相談窓口にご相談になる前に、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、お使いのカメラやビデオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

こんなときは

ハイビジョン画質（HD）で撮影したカメラの動画から、標準画質（SD）に変換してダビングするには？

- カメラと本機を、AVケーブルでつないでください（32ページ）。USBケーブルは使用できません。

入力を切り換えるには？（機器を接続した入力端子を選択するには？）

- 本機は、接続した機器からの入力信号を検出して、自動的に入力端子を選択します。接続する機器の電源を入れ、ダビングの準備を行ってください。
- 手動で入力端子を切り換えるには、［メニュー］画面から操作してください。
- ハイビジョン画質（HD）の動画をダビングするには［AVCHDダビング］を選び、［USB］（または［メモリーカード］）を選びます。標準画質（SD）の動画をダビングするには［ビデオ➜DVD］を選び、［VIDEO］［DV］［USB］または［メモリーカード］を選びます。

電源について

電源が入らない。

- 電源プラグがしっかり差し込まれているか確認してください（27ページ）。
- 電源プラグを抜き、つないでいるビデオ機器やメモリーカードをはずして、すべての操作を最初からやり直してください。

接続と操作について

カメラをUSBケーブルでつないでも操作できない。

- 対応するソニー製カメラを使用しているかどうか確認してください。
- カメラ側で、USB接続の操作や設定が正しく行われているかどうか確認してください（29ページ）。
- 本機からUSBケーブルを抜き、本機とカメラの電源を入れ直してから操作を行ってください。
- ［メニュー］画面から操作する場合、ハイビジョン画質（HD）の動画をダビングするには［AVCHDダビング］を選び、［USB］を選びます。標準画質（SD）の動画をダビングするには［ビデオ➜DVD］を選び、［USB］を選びます。
- 本機のディスプレイ表示に沿って操作する場合は、カメラに保存されている動画の種類によって本機の動作は異なります。ディスプレイ表示に従って操作してください。

カメラをDV（i.LINK）ケーブルでつないでも操作できない。

- カメラを再生モードに切り換えているかどうか確認してください。撮影モードではダビングできません（31ページ）。
- 本機からDV（i.LINK）ケーブルを抜き、本機とカメラの電源を入れ直してから操作を行ってください。

本機のVIDEO IN端子につないだビデオ機器からの動画が、本機のディスプレイに映らない。

- 本機につないでいる映像／音声ケーブルが、ビデオ機器側の出力端子につないであることを確認してください。
- ビデオ機器から映像信号が出力されていません。ビデオ機器の電源を入れ、必要な設定や再生などの操作を行ってください。
- 入力端子が正しく選ばれているか確認してください。［メニュー］画面から［ビデオ➜DVD］を選び、［VIDEO］を選びます。

ダビングの操作画面で、必要なディスク枚数が表示されれない。

- ダビングする画像の数が多いと、表示するまで時間がかかります。

本機にディスクを挿入すると、本機から動作音がする。

- ディスクチェックなどを行っている読み込み音です。故障ではありません。

映像選択ダビングで画像に🚫が表示される

- 🚫が表示された映像はダビングできません。

ディスクの再生

ダビングした標準画質(SD)のディスクを、他のDVD機器で再生できない。

- ディスクがファイナライズされていない可能性があります。本機で[ファイナライズ]を行ってください(61ページ)。
- ディスクと機器の組み合わせによっては、正しく再生できない場合があります。
- ご使用の機器が、ダビングしたディスクの種類(DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL、などの記録型ディスクの種類)に対応していない可能性があります。ご使用の機器が対応する記録型ディスクの種類を確認してください。

ダビングしたハイビジョン画質(HD)のディスクを、他の機器で再生できない。

- ハイビジョン画質(HD)のディスクは、一般のDVD機器では再生できません。ハイビジョン画質(HD)のディスクは、AVCHD規格の再生に対応する機器(ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなど)で再生できます(74ページ)。

ディスクにダビングした写真が他の機器で再生できない。

- JPEGファイルの再生に対応していない機器では再生できません。

スライドショーで再生したとき、写真の画像が汚い。

- スライドショーを再生した場合の写真の画像は、一般的なビデオ再生の画質相当になります。JPEGファイルの再生に対応している機器で再生する場合は、JPEGファイルの再生機能を使ってディスクを再生すれば、より高品位な画質で写真を再生できます。

画面メッセージの例

使用できないディスクです。DVDirectで使用できるディスクを入れてください。

- 本機が対応していないディスクが挿入されています。対応するディスクを入れてください(68ページ)。
- 他の機器でダビングしたDVD-RWやDVD+RWディスクを挿入した場合、そのままでは使用できません。本機で[ディスクの消去]を行ってください(62ページ)。

入力信号がありません。

- ビデオ機器をつないだ入力端子が正しく選ばれていない可能性があります。[メニュー]画面から[ビデオ➔DVD]を選び、入力選択画面で機器をつないでいる入力端子を選んでください。
- つないだビデオ機器から映像信号が出力されていません。ビデオ機器の電源を入れ、必要な設定や再生などの操作を行ってください。
- ビデオ機器側の出力端子に、本機がつながれていることを確認してください。
- つないでいる機器をはずし、本機やビデオ機器の電源を入れなおし、すべての操作を最初からやり直してください。

この製品で作成されたディスクを入れてください。

- 他のDVD機器で作成したディスクが挿入されています(他のDVD機器で作成したディスクに動画や写真を追記することはできません)。

選択された操作では、このディスクに記録することができません。

- ダビングの種類によっては、使用できるディスクの種類や追記できるディスクの種類が異なります(68ページ)。ダビングできない組み合わせの場合に、このメッセージが表示されます。(例えば、DVD+R DLディスクを使用して、USB端子経由でカメラからビデオをダビングしようとしたときなど)

カメラの設定をUSB接続にしてください。

- 本機が対応するソニー製カメラを検出しましたが、カメラ側のUSB接続設定や準備が正しく行われていない可能性があります。カメラ側で、カメラをパソコンにつなぐときと同じ操作を行ってください。

未対応のUSB機器です。接続した機器を確認してください。

- USB端子に、本機が対応しないUSB機器をつないでいます。

カメラにダビングできるビデオまたは写真がありません。

- ダビング元となるカメラまたはメモリーカードに、ダビングできる動画や写真が入っていません。

カメラにダビングできるビデオがありません。

- カメラやメモリーカードに、ダビングできる動画が入っていません。
- カメラにハイビジョン画質（HD）の動画のみ録画されているときに、[メニュー]画面で[ビデオ➡DVD]を選んで操作を進めた可能性があります。ハイビジョン画質（HD）の動画をダビングするには、[メニュー]画面で[AVCHDダビング]を選んでください。

カメラにダビングできる写真がありません。

- ダビング元となるカメラまたはメモリーカードに、ダビングできる写真が入っていません。

ディスクがいっぱいです。

- ディスクに空き容量があっても、動画のタイトル数や写真の枚数が、録画できる最大数に達した可能性があります。
- 使いかたによっては、ディスクの容量いっぱいまで録画できない場合があります。

XX/YYの動画はダビングできません。ダビングを続けますか？

- ダビング元のカメラまたはメモリーカードに、[HD FX]（ハイビジョンハンディカムの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画があります。この動画はAVCHD規格の規定によりダビングできません。「はい」を選ぶと、それ以外の動画だけダビングできます。（XX/YY：ダビングできない動画の数／ダビング元にあるすべての動画の数）

接続機器のエラーです。

- カメラと本機の接続（USBケーブル）がはずれた、またはカメラ側の電源が切れた可能性があります。確認してください。
- カメラにデモ映像が保存されていると正常に動作しない場合があります。カメラに保存されているデモ映像を削除してください。

メモリーカードのエラーです。

- ダビングに対応していないメモリーカードが、本機に挿入されています（例：ハンディカム以外のビデオカメラで撮影したメモリーカードなど）。

システムエラーです。

- このエラーがくり返し発生するような場合は、故障の可能性があります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは相談窓口へ

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

- 型名：VRD-MC6
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

部品の保有期間について

当社では、DVDライターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間を経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、相談窓口にご相談ください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、外部メディア、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

使用可能なディスク・メモリーカード

ディスクについて

本機では、以下のディスクにダビングできます。ただし、すべてのディスク・製造元の動作を保証するものではありません。

ディスクの種類	マーク	使用できるディスク	対応可能なバージョン
DVD+R	RW DVD+R	○	16倍速メディアまで
DVD+R DL（2層）	RW DVD+R DL	○*	8倍速メディアまで
DVD+RW	RW DVD+ReWritable	○	8倍速メディアまで
DVD+RW 高速書き込み対応	RW High Speed DVD+ReWritable	○	8倍速メディアまで
DVD-R	DVD R	○	16倍速メディアまで
DVD-R DL（2層）	DVD R R DL	×	—
DVD-RW	DVD RW	○	6倍速メディアまで

* DV IN/VIDEO IN端子からのダビングのみ対応

ちょっと一言

- 本機はCPRM対応のディスク、非対応ディスク、どちらも使用できます。

ご注意

- ブルーレイディスク、DVD-R DL（2層）、CD-R、CD-RW、また8cmディスクは使用できません。

ディスクに関するご注意

- 前回ダビングしてファイナライズしていないディスクに追記するときには、前回のダビング時と同じ接続端子を使って、本機とビデオ機器をつないでください。例えば、USBケーブルでハンディカムと本機をつないでダビングした場合、このディスクにVIDEO IN端子につないだビデオ機器の動画を追記することはできません。
- パソコンや他のビデオ機器でダビングしたディスクには追記できません。
- ハイビジョン画質（HD）の動画をダビングするときは、常に新しいディスクを使ってください。すでにダビングされているハイビジョン画質（HD）のディスクに追記することはできません。
- 市販の記録型ディスクの中には、規格上の品質や性能を満足しない製品があります。そのようなディスクを使用した場合、正常に記録できない場合があります。
- 記録済みのディスクは、傷や汚れ、また記録状態や再生機器、再生ソフトの特性などにより、再生できない場合があります。また、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

“メモリースティック”について

本機では下記の“メモリースティック”が使用できます。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

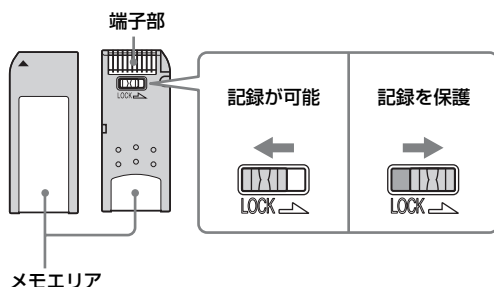
“メモリースティック”の種類	読み込み
メモリースティック	○
メモリースティック （マジックゲート／高速データ転送対応）	○*1
メモリースティック デュオ	○
メモリースティック デュオ （マジックゲート／高速データ転送対応）	○*1
マジックゲート メモリースティック	○*1
マジックゲート メモリースティック デュオ	○*1
メモリースティック PRO	○*1
メモリースティック PRO デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*1*2*3

*1 本機ではマジックゲート機能を使ったデータは読み込みできません。

*2 32GBまでのソニー製“メモリースティック PRO デュオ”および“メモリースティック PRO-HG デュオ”で動作確認を行っています。本機のメモリーカードスロットは32GBを超える容量には対応していません。また32GBを超えるカードを、撮影した機器のメモリーカードスロットに挿入して本機とUSBケーブルでつないでも、ダビングはできません（2010年1月現在）。

*3 本機は8ビットパラレルデータ転送に対応していません。

使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせLOCKにすると、データを記録、編集、消去できなくなります。

- “メモリースティック”はマルチカードスロットに、“メモリースティック デュオ”は、“メモリースティック デュオ”スロットに入れてください。“メモリースティック デュオ”を、“メモリースティック デュオ”アダプターを使用してマルチカードスロットに入れると、誤動作する場合があります。
- 各種カードアダプターを使用した場合の動作は保証いたしません。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチは、先の細いもので動かしてください。
- “メモリースティック”を初期化するときは、ご使用のカメラで初期化してください。パソコンで初期化した“メモリースティック”は、動作を保証いたしません。
- 誤消去防止スイッチの形状･位置はお使いの“メモリースティック”により異なります。

- ダビング中やメモリーカードランプ点灯中は、“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破損することがあります。
  - データを読み込み中に、“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った。
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で、“メモリースティック”を使った。

SDカード／xD-ピクチャーカードについて

本機では下記のメモリーカードをご使用になれます。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

- SDメモリーカード*1
- SDHCメモリーカード*2
- xD-ピクチャーカード

*1 2GBまでのSDカードで動作確認を行っています。

*2 32GBまでのSDHCカードで動作確認を行っています。本機のメモリーカードスロットは32GBを超える容量には対応していません(2010年1月現在)。

使用上のご注意

- 市販の各カードアダプターを使用した場合の動作は保証いたしません。
- 特に金属製のカードアダプターは使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込みはできません。

ダビングにかかる時間とダビングできる時間

ダビングに要する時間

動画をダビングするときに要する時間は、撮影したときの録画モード(FH、HQ、SP、LP)やシーンの数によって変わります。一般に、撮影時に設定した録画モードの画質(ビットレート)が高いほど、ディスクへのダビング時間はかかります。ダビングの所要時間はおおよそ次のようになっています。

ハイビジョン画質(HD)のダビング
(1時間の動画をダビングした場合)

モード	USB端子使用時	本機の"メモリースティック デュオ"スロット使用時
FH	約40分*	約80分*
HQ	約25分*	約50分*
SP	約20分	約35分
LP	約15分	約30分

* ディスクが2枚必要となります。

標準画質(SD)のダビング
(1時間の動画をダビングした場合)

モード	USB端子使用時 (8cmディスクからのダビングを除く)	本機の"メモリースティック デュオ"スロット使用時
HQ	約35分	約35分
SP	約25分	約25分
LP	約15分	約15分

ちょっと一言

- DV IN、VIDEO INの各端子にビデオカメラをつないでダビングするときに要する時間は、ダビングする動画の再生時間と同じです。

ご注意

- [HD FX](ハイビジョンハンディカムの場合)など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質(HD)の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。

ディスク1枚にダビングできる時間

ディスク1枚にダビングできる時間は、おおよそ次のようになっています。

ハイビジョン画質（HD）のディスク（AVCHD規格）

ダビングできる時間はカメラの録画モードによって変わります。

撮影時のカメラの録画モード	DVD-R/-RW/+R/+RW
FH	約30分
HQ	約55分
SP	約1時間10分
LP	約1時間35分

標準画質（SD）のディスク（USB端子またはメモリーカードスロットを使用したダビング）

ダビングできる時間はカメラの録画モードによって変わります。

撮影時のカメラの録画モード	DVD-R/-RW/+R/+RW
HQ	約1時間
SP	約1時間30分
LP	約3時間

標準画質（SD）のディスク（DV IN、VIDEO IN端子を使用したダビング）

ダビングできる時間は、本機の設定メニューの［録画画質（録画モード）］（60ページ）で設定できます。

本機の［録画画質（録画モード）］設定	DVD-R/-RW/+R/+RW
HQ	約1時間
HSP	約1時間30分
SP	約2時間
LP	約3時間
SLP	約6時間

ちょっと一言

- DVD+R DL（2層ディスク）を使用した場合は、上記時間の約1.8倍になります。

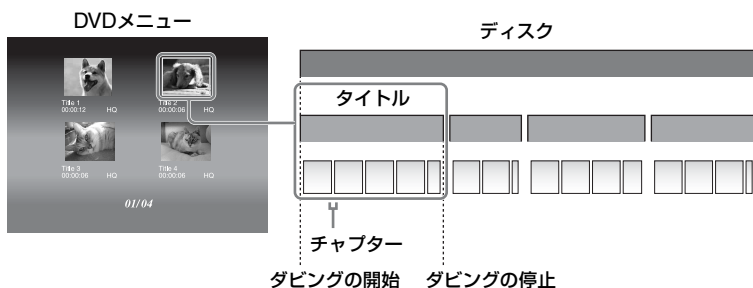
ご注意

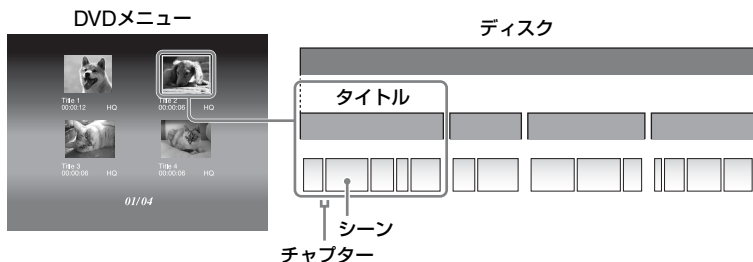
- ［HD FX］（ハイビジョンハンディカムの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。

ダビングしたディスクについて

本機で標準画質（SD）の動画をダビングしたディスクや、スライドショーを作成して写真をダビングしたディスクにはDVDメニューが作成されます。DVDメニューはディスクを再生するたびに表示され、日付やサムネイル画像から画像を選ぶのに役立ちます。
ディスクの画質やダビング時の接続方法によって、ディスク内の画像は以下のように構成されます。
また、作成したディスクによって制限事項がありますので、ご注意ください。

標準画質(SD)のディスクについて

標準画質（SD）のディスク構成
（DV IN、VIDEO IN端子を使用したダビング）

DVDメニューには、タイトル（本機でのダビング開始／停止操作で区切られた動画）のサムネイル画像が表示されます。それぞれのタイトルには、[自動チャプター]（60ページ）で設定された間隔で、チャプター（ディスク上での動画の区切り）が自動的に作成されます。

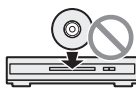
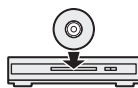
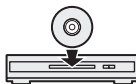
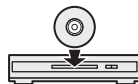
標準画質（SD）のディスク構成
（USB端子または“メモリースティック デュオ”スロットを使用したダビング）

- DVDメニューには、タイトル（撮影日ごとにまとめられた動画）のサムネイル画像が表示されます。それぞれのタイトルは、シーン（カメラで撮影したときの録画開始／停止で区切られた動画）ごとにチャプター（ディスク上での動画の区切り）が自動的に作成されます。
- 異なる録画モード（撮影時のカメラのHQ、SPなどの設定）や異なる画面比率（16：9/4：3）の動画をダビングしたとき、または動画の追記を行ったときは、撮影日が同じ動画でもまとめられる単位が分かれる場合があります。

ハイビジョン画質(HD)のディスクについて

ハイビジョン画質（HD）のディスクの再生互換性について

- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）のディスクを再生できません。
- ハイビジョン画質（HD）のディスクはDVDプレーヤーやDVDレコーダーに入れないでください。ディスクの取り出しができなくなったり、警告なしに画像が消去されたりする恐れがあります。
- ハイビジョン画質（HD）のディスクは、ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダー、“プレイステーション 3”などのAVCHD規格に対応した機器で再生できます。

ディスクを再生できる機器

ハイビジョン画質（HD）のディスク

標準画質（SD）のディスク

* AVCHD規格の再生に対応するアプリケーションをインストールしたパソコンをお使いください。また、動作環境を満たしたパソコンでも、再生画像のノイズ、コマ落ち、音途切れが発生することがあります。（これは、ダビングしたハイビジョン画質（HD）のディスクの品質によるものではありません。）

ハイビジョン画質（HD）のディスク構成

- DVDメニューは作成されません。
- シーン（カメラで撮影したときの録画開始／停止で区切られた動画）ごとにチャプター（ディスク上での動画の区切り）が自動的に作成されます。
- 本機での再生はできません。

写真ディスクについて

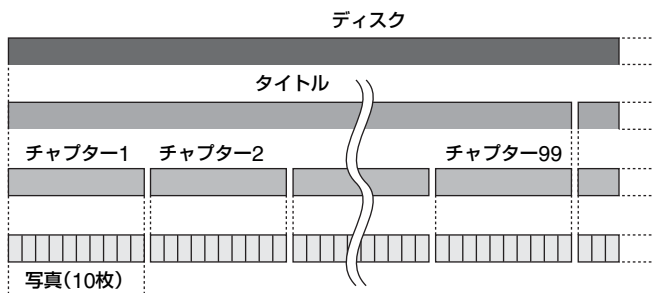
本機で写真をダビングしたディスクについて

- 本機では、写真はJPEGファイルのままディスクにダビングします。ダビングした写真（JPEGファイル）には、ディスクに記録した順に新しいファイル名が付けられます。
- ダビングしたディスクをファイナライズする時にスライドショーを作成すると（54ページ、56ページ）、写真をもとにして作られるスライドショー映像も、写真（JPEGファイル）といっしょにディスクにダビングできます。

- ディスクにダビングした写真（JPEGファイル）は、本機のディスプレイ上やDVDドライブ搭載のパソコン、またはJPEGファイルの再生に対応するDVDプレーヤーなどで閲覧できます。スライドショー映像は、DVDプレーヤーなどのDVD機器で再生できます。

ちょっと一言
- スライドショー映像をDVDプレーヤーなどで再生したときに得られる写真の画質は、標準画質（SD）の動画と同等のものです。パソコンやJPEGファイルの再生に対応するDVDプレーヤーなどで再生（JPEGファイルの閲覧）すれば、より高画質に写真を楽しむことができます。

ご注意
- 1枚のディスクに、最大2000枚までの写真を記録できます。
- 1枚のディスクに、動画と写真を一緒に記録することはできません。

スライドショーのディスク構成

- スライドショーを作成したディスクには、標準画質（SD）の動画をダビングしたディスクと同様に、タイトルやチャプターが作成されます。
- ダビングした写真は、10枚ごとにチャプターで区切られます。
- 1タイトルに、最大99個までのチャプターを作成します。

ご注意
- 再生する機器によっては、DVDメニューが表示されない場合があります。

ちょっと一言
- DVDメニューの背景には、本機に用意されている画像やお気に入りの写真を使用できます（61ページ）。
- スライドショーのディスクには、再生するときのバックグラウンド音楽（BGM）を入れることができます（61ページ）。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

本機のお手入れについて

汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーなどで強く拭くと傷がつく恐れがあります。

輸送について

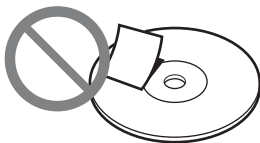
本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。
本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して 1 時間以上待ち、それから電源を切ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。再生／録画面に触れないでください。

- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。
- 記録用ディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

メモリーカードの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など、気温が高い場所
  - 直射日光が当たる場所
  - 湿気の多い場所
  - 腐食性のものがある場所
  - ほこりが多い場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響がある場所
  - 磁気の影響がある場所
- 持ち運びや保管の際は、カードに付属の収納ケースに入れてください。
- 本機でカードを使用中に、カードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの読み込みができなくなる場合があります。

海外でのご使用について

電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

警告

下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

付属の AC アダプターや電源コードを他の機器で使用しない

火災や感電の原因となります。

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

付属品や"メモリースティック"などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ディスクトレイの開閉時、手をはさまれないようにする

ディスクトレイを開閉する際に、手をはさまれないようにご注意ください。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

本機や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

回転しているディスクにはさわらない

ディスクトレイを開けると、ディスクが回転していることがあります。回転しているディスクにさわると、けがの原因になることがあります。

主な仕様

録画•ダビング

作成できるディスク

- 標準画質（SD）ディスク
- ハイビジョン画質（HD）ディスク（AVCHD規格）
- 写真ディスク（JPEGファイル保存、データDVD）
- スライドショーディスク（JPEGファイル保存、DVD-VIDEO規格）

記録できるディスク*[1]

DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R DL*[2]

*[1] 12cmディスク
*[2] DV入力端子、映像入力端子からのダビングのみ対応

対応入力機器（動画ダビング）

- ソニー製デジタルビデオカメラ
  - ハードディスク
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
  - 8cmディスク
  - DV/D8テープ
- ソニー製デジタルスチルカメラ
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
- 音声出力・映像出力のあるビデオ機器

対応入力機器（写真ダビング）

- ソニー製デジタルビデオカメラ
  - ハードディスク
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
  - 8cmディスク
- ソニー製デジタルスチルカメラ
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
- 他社製デジタルビデオカメラ
  - メモリーカード
- 他社製デジタルスチルカメラ
  - メモリーカード

対応静止画形式*

JPEG、DCF2.0準拠

* 本機では、以下の静止画（JPEGファイル）で動作を確認しています。
画素数：最大8192×8192画素
ファイルサイズ：最大7.2MB
ファイル数：最大2000枚

プレビュー（簡易再生）

再生可能ディスク

VRD-MC6でダビングしたディスク*
（上記以外は非対応）

* ハイビジョン画質（HD）のディスクは再生できません。

再生出力

本体液晶画面

入力端子

DV IN端子*[1]

4ピン i.LINK（IEEE1394）、S100、DVC-SD入力

VIDEO IN端子

1Vp-p/75 Ω

AUDIO IN端子

2Vrms（入力インピーダンス：47kΩ以上）

USB端子*[2]

タイプA

*[1] DV機器接続用。
*[2] ソニー製カメラ接続用。

メモリーカードスロット

“メモリースティック デュオ”
“メモリースティック”*
SDメモリーカード*
xD-ピクチャーカード*

* マルチカードスロットを使用。

電源部、その他

電源
DC 12V（DC IN端子）

消費電力
30W

ACアダプター　AC-NB12A
電源：AC 100V－240V
定格出力：DC 12V/2.5A

外形寸法*
約144×52×156mm（幅×高さ×奥行き）

* 最大突起物を含む。

本体質量
約660g

許容動作温度
5℃～35℃

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「101」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

P/N 7925000043C

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China

http://www.sony.co.jp/